ここに作品タイトルを記載して下さい

Please put English Title of Your Work Here

**応募書類では著者・所属は記入しないで下さい。**

**（書類審査通過後に著者・所属を入れた最終盤を提出していただきます）**

バーチャル太郎1)，拡張二郎1)，現実花子1)

Taro VIRTUAL, Jiro KAKUCHOU, and Hanako GENJITSU

1) 東京大学 工学系研究科 （〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1, vrsj@star.t.u-tokyo.ac.jp）

概要：IVRC2019では，これまでの企画梗概ではなく，VR学会大会予稿を応募に必要な書類とします．ここには250文字程度で投稿作品の和文要旨を書いてください．

キーワード：3～4個の和文キーワード

# はじめに

このファイルは，第23回日本バーチャルリアリティ学会大会論文集の投稿用原稿フォーマットに準拠した，IVRC書類審査のための『VR学会大会予稿（昨年度までの企画梗概）』を作成するために必要とされるレイアウトやフォント等の基本的な情報が記述されている，サンプル原稿です．

原稿はA4サイズ2段組とし，2ページ～4ページにまとめてください．それ以外のページ数では受け付けられませんのでご注意ください．上下辺，左右辺ともマージンは2 cmとします．ヘッダー，フッターは設けません．文字は25文字＋2文字＋25文字の横2段組とし，50行（行間約14.4 pt）で作成してください．ページ番号は記入しないでください．

# システム構成など

本サンプルファイルには，各部のフォントやインデントなどを設定した「スタイル」が定義されています．対応する「スタイル」を指定すれば，執筆要領で指定されたフォントなどが自動的に設定されます．

## タイトル部

ヘッダより1行あけてタイトルを記述してください．タイトルはゴシック体18 ptを用い，センタリングにしてください（スタイル「タイトル」）．

2019年大会では国際会議ICAT-EGVEと併催することから英文タイトルを必須としました．Times 10 ptのフォントを用い，前置詞以外の単語の先頭は大文字で，センタリングにしてください（スタイル「Title」）．

1行あけて，例のように**チーム名**を明朝体10 ptを用いて記述し，センタリングにしてください（スタイル「著者」）．

書類審査は，企画書を誰が・どこに所属しているか分からないように行う（ダブルブラインド審査）ため，書類審査投稿時にはチーム名や氏名や所属が分かる記載はないようにして下さい．

1行あけて和文概要を，明朝体 9 ptを用いて記入してください（スタイル「概要・キーワード」）．「概要」という文字はゴシック体にします．左右のインデントは明朝体9 ptで5文字程度になるようにしてください．次の行に3～4個の和文キーワードを例のように明朝体9 ptにて記入してください．「キーワード」という文字はゴシック体にします．

## 本文部分

キーワードの後，2行あけて本文に移ります．本文は横2段組，50行（行間約14.4 pt），明朝体9 ptで作成してください．段落冒頭は1文字分字下げします（スタイル「本文字下げ」）．

### 見出し（見出しが複数行に渡る場合には，このようにインデントを付ける）

### 章の見出し

見出しのレベルは3段階とし，第1レベル（章）は，上に1行あけてゴシック体10 ptにより「3. 見出し」のように記入してください（スタイル「見出し1」）．

### 節の見出し

第2レベル（節）の見出しは前後に空白行を設けず，ゴシック体9 ptにより「3.2 節の見出し」のように記入してください（スタイル「見出し2」）．

### 項の見出し

第3レベル（項）の見出しも前後に空白行を設けず，ゴシック体9 ptにより「3.2.1 項の見出し」のように記入してください（スタイル「見出し3」）．

## 数式および数学記号

数式はセンタリングし，式番号はカッコ付きの通し番号で右詰めとしてください（スタイル「数式」）．

  (1)

数式の前後には1行程度の空白を設けてください．

## 図表



図 1: 図のキャプションは図の下に置く．図中のテキストはキャプションと同じかやや小さくなるように調整すること．

表 1: 表のキャプションは表の上に置く

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | Real | Estimated |
| 1 | 1.5 | 1.2 |
| 2 | 2.5 | 2.3 |
| 3 | 3.5 | 3.4 |

図表は，図1のように，本文で引用したページの，ページの四隅いずれか，または上下端に置くことを推奨します（このサンプルでは，テキストボックスを使って配置しています）．可読性の観点から，本文中の引用箇所より前のページに図を配置することや，原稿末尾に図表をまとめて置くことは避けてください．図表と本文の間には1行程度の空白を設け，図のキャプションは図の下に，表のキャプションは表の上に置いてください．図番号，表番号は通し番号とし，ゴシック体9 ptで記入してください（スタイル「図表番号」）．

# 動作原理など

## 最終ページのレイアウトと参考文献

最終ページは左右の段落ができるだけ揃うように調整してください．参考文献は出現順に番号を付け，該当個所に [1][2][3][4] のように鍵括弧で指示してください．

参考文献の引用リストは例を参考にして，文末に1行あけ，ゴシック体10 ptセンタリングで「参考文献」と記した後に，番号順に記入してください．姓名の記法や誌名巻号の略記法など形式について厳密な指定はありませんが，リストの中で統一を取るようにしてください．

## PDF出力

原稿はPDFにて投稿してください．投稿前に，

* 書式の乱れがないか
* 参照文献番号があっているか
* 画像は印刷に耐えうるクオリティか
* A4サイズになっているか
* 白紙ページがないか
* 規定ページ数に収まっているか

などを必ず確認してください．

また，出版プロセスでPDFを加工（ノンブル付与）するため，PDFのセキュリティなどは解除いただく様お願いいたします．

# むすび

この原稿は Microsoft Word を用いて作成したものです．この原稿は本執筆要領に基づいて作成されたサンプル原稿の一つであり，本ファイルを使用する義務はありません．また，本ファイルを使用することで発生するいかなる不具合についても対処することはできません．

謝辞　謝辞は結論の後に書いてください．特になければ謝辞の項は削除して下さい．

付録　付録は参考文献の前に書いてください．特になければ付録の項は削除して下さい．

参考文献

1. バーチャル太郎，現実花恵：日本バーチャルリアリティ学会大会論文集の書き方，日本バーチャルリアリティ学会第1回大会論文集，pp. 1–2, 1996.
2. バーチャル太郎，現実花恵：日本バーチャルリアリティ学会投稿論文の書き方，日本バーチャルリアリティ学会論文誌，Vol. 1, No. 2, pp. 201–206, 1996.
3. バーチャル太郎，現実花恵：日本バーチャルリアリティ学会解説の書き方，日本バーチャルリアリティ学会誌，Vol. 2, No. 4, pp. 11–16, 1997.
4. 第27回学生対抗バーチャルリアイティコンテスト　募集要項．http://ivrc.net/2019//#participant，（参照 2019-04-23）．